

各種申込方法

本学教職員の派遣や学生との交流に関するご相談・お問合せは、研究・地域連携支援課で受け付けています。

国際教養大学

研究・地域連携支援課

Tel. 018-886-5904/5905 (月～金 9:00～17:00)

Fax.018-886-5910

※土・日曜日、国民の祝日、8月13日から15日、12月29日から翌年1月3日及び本学の開学記念日(4月8日)は事務を取り扱いません。

▶学生との交流

本学ウェブサイトに掲載しております留意事項等をあらかじめご確認いただき、申込書をダウンロードしてご記入のうえ、お問い合わせください。

国際教養大学公式ホームページ
→地域連携
→学生との交流活動について
<https://web.aiu.ac.jp/exchange/international-exchange/student/>



▶講師派遣依頼

本学の教職員による出前講座や模擬授業などを希望される場合は、本学ウェブサイトから申込書をダウンロードしてご記入のうえ、お問い合わせください。

国際教養大学公式ホームページ
→お問い合わせ
→見学・取材等申し込み
→講師派遣・学生交流のお申し込み
<https://web.aiu.ac.jp/contact/inspect/>



公立大学法人
国際教養大学
Akita International University

発行 2019年5月

発行者 公立大学法人国際教養大学

〒010-1292 秋田県秋田市雄和椿川字奥橋岱

Tel. 018-886-5900/Fax. 018-886-5910

URL:<https://web.aiu.ac.jp/>

公立大学法人
国際教養大学

2018年度(平成30年度)
英語教育・国際交流・
地域連携活動

2018年4月～2019年3月



小平岱活動組織との稲刈り



はじめに

国際教養大学では、2004(平成16)年4月の開学以来、教育、研究、国際貢献・地域貢献活動の3つを大学の責務として位置付けて参りました。

これまで、中嶋記念図書館、言語異文化学修センター(LDIC)、カフェテリア、カレッジカフェなどの学内施設の一般開放はもちろんのこと、本学が有する教育資源を活用してイングリッシュビレッジをはじめとする教育の場の提供を推進し、地域の活性化、異文化交流の促進、研修の場の提供等々、さまざまな取組みを通して秋田県のみならず全国各地に新しい風を吹き込んできたと自負しております。

現代の大学には、教育及び研究機能のほか、社会貢献の機能が求められています。本学は秋田県に設立された公立大学として市町村との提携によるお力添えをいただき、積極的な交流活動を通して、県境・国境、世代を超えた人々とのつながりを育み、同時に、県内出身学生の郷土愛、県外出身学生の秋田に対する新たな見識、そして世界各国からの留学生の異文化理解をより一層深めることに努めてきました。

具体的には「秋田から世界へ」「世界から秋田へ」という流れを実現することに努力しております。本学の日本人学生、海外からの留学生共に、忙しい勉学のかたわら、あい間をぬって県内の小中高等学校等との交流に励んでおり、本学学生が地域の学校等を訪問すること及び本学に地元生徒を迎えての異文化交流活動は年間200回以上に及んでおります。

本学が推し進める「国際教養」教育で、学生が問題発見と改革の方法論を身に付け、大学での学びと地域社

会での学びをフィードバックさせて学んでいくことは、重要な学術探究の方法ともいえます。

ここに、2018(平成30)年度の本学の地域貢献活動の状況を取りまとめましたのでご一読いただければ幸いです。

これからも、地域に開かれた大学、地域と共に歩む大学として、地域のみなさまとの交流活動を推し進めていきたいと考えています。みなさまの温かいご理解とご支援のほど、よろしくお願いいたします。

2019(平成31)年4月

公立大学法人 国際教養大学
理事長・学長 鈴木 典比古



各ページに掲載している本学教員紹介は、2019年4月1日時点の情報です。●氏名●所属 ●職位 ●出身国・地域 ●主な担当科目の順で掲載しております。

はじめに…………… 1

英語教育…………… 3

イングリッシュビレッジ…………… 3

ティーチャーズセミナー…………… 3

親子で参加できるEnglish Immersion Program…………… 4

御所野学院中学校・高等学校との連携…………… 4

米国大使館との連携…………… 4

国際交流…………… 5

県内自治体との協定等に基づく交流…………… 5

AIU-LAB(英語で理科実験)…………… 5

地域の伝統行事・イベントなどへの参加…………… 6

平成30年度県内自治体・各種団体等との交流実績…………… 6

地域連携…………… 7

アジア地域研究連携機構…………… 7

・Ⅰ アジア地域研究の深化…………… 7

・Ⅱ 学術的連携の推進…………… 7

・Ⅲ 地域貢献・政策提言の発信…………… 8

国際教養大学公開講座…………… 9

教員による地域連携活動の紹介…………… 9

・総合的プログラミング教育ワークショップ～他教科との連携～…………… 9

・地域の日本語教育への貢献…………… 9

大学施設の紹介…………… 10

各種申込方法……………裏表紙



国際教養大学では2004(平成16)年の開学以来、すべての授業を英語で行うなど、「英語で英語を学ぶ」取組において独自のノウハウを有しています。そのノウハウを小中高等学校の教育現場等に還元できるよう取り組んでいます。

イングリッシュビレッジ

イングリッシュビレッジ(※スーパーグローバル大学創成支援事業)



イングリッシュビレッジ

イングリッシュビレッジは、中高生を対象とした2泊3日の英語研修プログラムで、本学を会場に年間15回程度開催しています。本学の学生(大学院生、学部生、留学生)が、担当教員から事前にトレーニングを受け、講師として参加生徒の指導にあたります。秋田県の生徒はもちろん、県外の学校からの参加も多く、国際教養大学というグローバルな環境で、「英語を英語で学ぶ」機会を楽しんでいただいています。本学の学生スタッフは、本プログラムの運営を通じて、自立かつ能動的に学修する姿勢を身に付けています。



内田 浩樹

専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科長・専攻長 英語教育実践領域代表/教授 [日本]
外国語としての英語会話力・聴解力指導法・語彙修得

大学の地域貢献では、大学と地域社会の双方にメリットがあることが大切です。本事業では、中高生が英語コミュニケーションや異文化を学び、本学の学生が教師としてのスキルを学ぶという理想的なモデルが実現されています。

平成30年度開催実績

16回 553名参加

主な参加校：秋田南高等学校 御所野学院中・高等学校
秋田北高等学校 秋田工業専門学校 等

ティーチャーズセミナー(※スーパーグローバル大学創成支援事業)



ティーチャーズセミナー

秋田県内外の小中学校の学級担任及び英語教員を対象に、ティーチャーズセミナーを開講しています。セミナーでは、「英語を英語で教える」ことの意味やその手法、実践的教授法、クラスマネジメントなどについてのワークショップを実施しています。県内外の教育委員会とも協働しながら、本学がこれまで培ってきた英語教育の実践的方法論を活用し、初等・中等教育を担う現職教員の指導力向上に貢献しています。



町田 智久

専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科 英語教育実践領域/准教授 [日本]
外国語としての英語教授法と学習教材

ティーチャーズセミナーは、国際教養大学の教育環境をフルに活用して、参加された先生方がすぐに授業で生かせる指導スキルを中心に構成しています。先生方が自信を持って英語を指導できるようにサポートしています。

平成30年度開催実績

3回 62名参加

国際教養大学公開講座

親子で参加できるEnglish Immersion Program

本学を会場に、親子で参加できる体験型ワークショップを開催し、小学生が楽しみながら英語で英語を学ぶ機会を提供するとともに、保護者向けにも英会話の講義を行いました。参加したのは、秋田県内各地の小学3年生から6年生までの児童44名とその保護者で、本学の学生や留学生と一緒に歌ったり体を動かしたりしたほか、英語力のレベルに応じたクラス分けのもと、本学教員が指導する英会話レッスンを体験しました。



遠藤 秀弘

教職課程/准教授 [日本]
教育制度論、英語科教育法 I

開かれた国際教養大学をテーマに、限られた時間ではありますが、秋田の小学生および保護者の方に、国際教養大学を身近に感じてもらえるイベントを開催することができました。



English Immersion Program

平成30年度開催実績

平成30年11月3日(土)
児童44名、保護者51名参加

御所野学院中学校・高等学校との連携



御所野学院での英語授業

本プロジェクトは、本学学生と御所野学院生徒双方にとってメリットのあるプログラムです。指導教員から事前にトレーニングを受けた学生が、本学と教育連携協定を結んでいる秋田市立御所野学院中学校・高等学校を定期的に訪問し、英語指導を行っています。



カルロス・バディング

英語集中プログラム(EAP)/助教 [アメリカ]
EAP III (上級)

御所野学院の授業システムにより、学生は中高生に直接言語を指導する機会を与えられ、生徒は、自分たちと同じように日本で英語を学んできた学生から英語学習のアドバイスを受けることができます。

平成30年度開催実績

御所野学院中学校7回、
高等学校4回訪問

米国大使館との連携

本学と米国大使館との共催により、全国の小・中・高等学校の英語教員を対象に、1日間、2日間、3日間と様々なスタイルで、英語指導法のセミナー、ワークショップを本学及び全国で開催しました。7月に本学を会場に開催した小学校教員対象の「ハイブリッドコース(オンライン講義と実地研修)」には、全国各地から12名が参加し、基本的な英語指導スキルと、英語の授業での自信の持ち方について学びました。参加者はグループに分かれ、留学生と会話し英語力を磨いたほか、1ヶ月間のオンライン講義で修得した英語授業プランとスキルの実践、また参加者同士でフィードバックを行いました。



クリストファー・カール・ヘイル

専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科 英語教育実践領域/准教授 [アメリカ]
言語、文化とアイデンティティ

米国大使館からの3年間の教員指導力向上補助金により、私たちのプログラムを通して、全国各地の多くの教員と関わる事ができました。クラス運営と教育実習を通して、教員の自信構築にも貢献できました。2019年度は東京、札幌、那覇で様々なセミナーを行う予定です。



英語指導法スキルアップ集中セミナーシリーズ

平成30年度開催実績

- ◎英語指導法スキルアップ集中セミナーシリーズ(3日間) 3回 188名参加
- ◎英語指導法アドバンス・スキルアップ・ワークショップ(1日間) 3回 64名参加
- ◎ハイブリッドコース(2日間) 1回 12名参加



峰浜小学校(八峰町)との交流

195を超える海外の提携大学などから約200人の留学生が学んでいる本学キャンパスは、『世界の縮図』ともいえる多文化共生空間を形成しています。本学の多様な人材が地域の方々と交流し、地域の国際化推進に貢献しています。

県内自治体との協定等に基づく交流

本学と国際交流に関する連携協定を結んでいる秋田県内の8市町村(八峰町、大仙市、男鹿市、由利本荘市、美郷町、仙北市、大湯村、羽後町：2019(平成31)年4月時点)との間で、本学学生の派遣及び本学訪問の受入れなどの交流を活発に行っています。また、学校での交流を行った後にホームステイを体験するなど、地域社会との交流も行っています。協定を結んでいる自治体以外の学校とも、異文化交流事業や外国語活動へ留学生を派遣したり、本学訪問を通じた交流活動などを行ったりしています。



ショージュン・イー

専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科
発信力実践領域/大学院生 [中国]

2018年4月にAIU専門職大学院(発進力実践領域)に入学してから、大学が紹介してくれる様々な交流活動に参加しています。地域の方々や学生と話すことで、日本文化や秋田についてより深く知ることができますし、自国の文化も紹介できます。コミュニケーションスキルも一層磨かれたように思います。



八森こども園(八峰町)との交流



協和中学校(大仙市)との交流



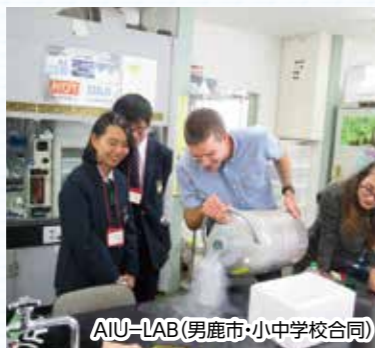
由利小学校(由利本荘市)との交流

AIU-LAB(英語で理科実験)

本学の実験室を会場に、小学生向け理科実験を英語で行いました。小学生は、サポート役の留学生と交流しながら「熱と物体」というテーマで、液体・気体・ドライアイスや3Dプリンターを用いた実験に挑戦し、英語だけではなく科学に対する関心も高める活動となっています。



AIU-LAB(大仙市・横堀小学校)



AIU-LAB(男鹿市・小中学校合同)



アンドリュー・J・クロフト

基盤教育代表/教授 [イギリス]
生物学入門、化学入門・実験

実験室での実践的な活動は、小学生が楽しく学びながら科学に目を向け、そして科学がいかんにかして私たちが取り巻く世界を探求し明らかにするのかもしれないことに興味を持ってもらえるような機会にしています。

地域の伝統行事・イベントなどへの参加

本学の所在地である秋田市雄和地区をはじめ、県内各地域の方々と伝統行事や各種イベントを通じた継続的な交流を行っています。



なまはげ行事(男鹿市)



国際ふるさと料理交流会(大湯村)



かまくら行事(横手市)

平成30年度主な参加行事

- 観光庁モデル事業モニターツアー
秋田冬季活動 Fam Tour
- 秋田市
国際フェスティバル
- 秋田市河辺岩見小平岱
稲刈り・収穫祭
- 秋田地域留学生交流推進事業
第三の故郷を見つける農家民泊・収穫祭
- 羽後町
うごまち未来の学校体験入学・羽後町留学
- 大湯村
デンマークBBQパーティ・大湯村米粉食品試食モニター・国際クッキングパーティ
- 男鹿市
なまはげ行事・紫灯まつり
- 仙北市
白岩城址燈火祭
- 三種町
じゅんさい世界選手権
- 横手市
かまくら行事・横手産品試食会



キリアコス・アナスタシウ

専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科 発信力実践領域/大学院生 [キプロス]

大学が紹介する様々な活動に参加しているおかげで、秋田県内の方々と交流する機会を多く持て、楽しいつつ有意義な学生生活を過ごすことができている。UNESCO無形文化遺産に最近登録された伝統行事「なまはげ」になまはげとして参加できたり、多くの小中高生と会話ができたり、一つ一つが忘れられない思い出になっています。

平成30年度県内自治体・各種団体等との交流実績

五十音順に掲載、※は協定市町村

市町村名	延交流回数	延参加学生数	うち参加留学生数
秋田市	43	213	194
羽後町 ※	6	29	25
大湯村 ※	7	28	21
大館市	1	5	2
男鹿市 ※	5	29	23
湯上市	1	1	0
北秋田市	1	8	6
五城目町	1	24	20
仙北市 ※	6	29	15
大仙市 ※	43	238	216
にかほ市	1	1	0
能代市	5	22	19
八峰町 ※	15	115	111
美郷町 ※	7	33	24
三種町	1	4	3
湯沢市	5	27	19
由利本荘市 ※	22	160	134
横手市	5	30	23
その他	48	416	87
合計	223	1412	942



なまはげ行事(男鹿市)

本学と地域の関係機関・団体との連携や、様々な学習機会の提供により、地域活性化に向けた多様な活動を展開しています。

アジア地域研究連携機構 (Institute for Asian Studies and Regional Collaboration)

2015(平成27)年4月1日に大学内に設置したアジア地域研究連携機構(IASRC)は、アジアにおける日本、秋田という文脈において調査研究活動を展開しており、現在、そして将来直面するであろう様々な課題をグローバルな視点から捉え分析し、その成果を地域に還元していきます。

◎秋田県内の全ての公共交通をGoogleマップ等の経路検索システム上で可視化することを目指す「秋田公共交通情報プロジェクト」が(公社)土木学会の審査員特別賞を受賞しました。



豊田 哲也

アジア地域研究連携機構 講義/教授 [日本]
国際歴史・国際機構論、東アジアにおける対立と協力の歴史と未来を研究

世界とつながってこそ国際教養大学は強みを発揮し、秋田の地域に貢献することができます。アジア地域研究連携機構は世界とつながり、秋田とつながることで、特徴ある活動を進めています。

I アジア地域研究の深化



グローバルビジネス人材育成研修

◎グローバルな視点を備えた企業・企業人材を育成するグローバルビジネス人材育成研修プログラムを開発し、国内研修及び海外渡航研修を実施しました。



中川 秀幸

グローバル・ビジネス課程/准教授 [日本]
開発経済学、応用ミクロ経済学

ベトナムホーチミン市にて秋田県の若手起業家の方々を中心とした海外渡航研修を実施しました。参加者はベトナムのダイナミックな経済活動に触れ、国境を越えた新たな事業アイデア創造に取り組んでおりました。

II 学術的連携の推進



JR寄附講座

◎自治体・東北観光推進機構・カセサート大学(タイ)と連携して東日本旅客鉄道(株)の寄附講座「遺産観光論」・「インバウンド観光と地域振興」を開講し、東北の観光開発について調査しました。



根岸 洋

アジア地域研究連携機構 副機構長/准教授 [日本]
考古学・遺産観光論・県内遺跡の発掘調査実施中

産学連携講座でのフィールドワークや成果報告会を通して、伝統的な祭り等の東北地方に残された文化遺産や資産を継承しながら観光開発を進め、地域活性化を実現する方法を学術的見地から探っていきます。

III 地域貢献・政策提言の発信



世界の中の秋田蘭画

◎人口減少社会における伝統文化の継承や外国人材の受入れなどについて、地方自治体と連携して研究に取り組んだほか、秋田の文化遺産として世界に誇ることのできる「秋田蘭画」の研究にも取り組み、小冊子「世界の中の秋田蘭画」(日本語版・英語版)を出版しました。



阿部 邦子

基礎教育/アジア地域研究連携機構 准教授 [日本]
美術史、世界における日本の美術史、科学と芸術の文化史、理論・評論、フランス語Ⅱ・Ⅲ

「美知の国」秋田の豊富な文化的資源の調査研究には謎を解くワクワク感があり、特に世界に目を向けた進取の気性を示す「秋田蘭画」はその最たるもの。小冊子出版と共に、国内外への積極的な紹介を続けています。

【観光振興に関する調査活動】

県内観光施設等における観光案内文をQRコードによる多言語対応を進めたほか、近年急激に増加しているクルーズ船による外国人観光客を対象としたアンケート調査を行うなど、県内におけるインバウンド観光の活性化に向け、学生とともに取り組んでいます。



クルーズ船調査



伝統文化の継承や外国人材の受入れ

【学生による地域貢献プロジェクト】

学生主体の地域貢献・活性化に資する活動等を積極的にサポートする制度を設置し、支援しています。

平成30年度参加団体

- 秋田若者活性化委員会 FROM PROJECT 秋田
- 滝俣グループ
- こらぼ・らぼ



滝俣グループ



秋田若者活性化委員会

地域とともに

140th

想いをつむぐ。未来へつなぐ。

金融経済教育

親子でチャレンジ!
あきぎんワクワク探検隊
クイズやゲームを楽しみながら
お金の大切さを学んで
いただきました。



文化振興

あきぎん吹奏楽団
音楽フェスティバル
入場料の一部を
社会福祉団体に寄付
しています。



スポーツ振興

あきぎん
バスケットボールクリニック
ジュニア選手や指導者の方を
対象にした「バスケットボール
クリニック」を県内各地で
開催しています。



(あきぎん)オリジナルキャラクター「みみより一家」





国際教養大学公開講座

秋田県生涯学習センタースマートカレッジ「チャレンジゼミ」や東北税理士会との共催により、本学の教員が講義を行いました。

【平成30年度実績】

- 1 日時 平成30年6月30日(土) 13:00~14:30 会場 国際教養大学 コベルコホール 参加者 54名
 2 日時 平成30年9月29日(土) 11:00~16:45 会場 国際教養大学 コベルコホール 参加者 85名

 1 「タイとの文化経済交流から迫る秋田県の可能性」 水野 智仁 グローバル・スタディズ課程長/教授	 2 「世界の中の秋田 蘭画」 阿部 邦子 基盤教育/アジア地域研究連携機構/准教授	 2 「『秋田の酒蔵』～酒造りの物語～」 竹村 豊 アジア地域研究連携機構/前特任教授	 2 「遺産は観光地になるのか?～東北観光を考える～」 根岸 洋 アジア地域研究連携機構/准教授
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

教員による地域連携活動の紹介

総合的プログラミング教育ワークショップ～他教科との連携～



2020(令和2)年度から小・中学校で導入されるプログラミング教育に向けて、関心のある教員を対象に2017(平成29)年度から本学で研修会を開催しています。研修会では、プログラミング教育指導への不安軽減を目的とし、実践的なワークショップを多彩に組み込みました。2018(平成30)年度からは保護者・小・中学生対象のワークショップも行い、保護者は家庭でプログラミング教育導入をどのようにサポート出来るかを体験しました。参加者は、プログラミング教育と英語教育の共通点や双方を組み合わせた授業について深く学び、簡単な英語で操作できるロボットやプログラミングゲームを用いた学習を体験しました。

荒木 直子



英語集中プログラム(EAP)/准教授 [日本]
EAPⅢ(上級)

マアリー・フランシス・アグネロ



英語集中プログラム(EAP)/教授 [アメリカ]
EAPⅢ(上級)、英作文I

フローランド・ドメナック



基盤教育 ICTコーディネーター/准教授 [フランス]
プログラミング基礎

英語学習とプログラミング概念を結びつけ、わかりやすく実践的な授業を新たにデザインしました。アクティブラーニングを基本とするワークショップに参加した方々からは、英語苦手意識も緩和され、プログラミングコンセプトは日頃から様々な場面で実践されていて、特別なことではないことに気付いたと嬉しい感想が多く聞かれました。今後も実践的なワークショップを開催していきます。

平成30年度開催実績

- ◎平成31年1月11日(金) プログラミング教育ワークショップ～他教科との連携～ 6名参加
 ◎平成31年1月12日(土) 英語でプログラミングワークショップ 38名参加

地域の日本語教育への貢献



2014(平成26)年度からスーパーグローバル大学創成支援事業のプログラムの一つとして、オーストラリア国立大学(ANU)の学生を対象とした上級日本語・日本文化冬期集中プログラム(JCIP:A)を本学で開講しています。秋田について学びながら日本語力を向上させることを目的とするプログラムで、毎年仙北市白岩地区の地域活性化イベント「白岩城址燈火祭」に参加しています。ホームステイをしながら祭り準備、本番、直会(なおり)まで参加します。今年も12名のANU学生と12名の本学学生が参加しました。2016(平成28)年夏には、400年続きながら過疎化の影響で18年前に途絶えてしまった白岩大名行列に、本学学生が参加することで一度限りの行事復活に貢献し、地域の方々にも喜ばれました。

浜田 英紀



日本語プログラム/助教 [日本]
日本語科目

佐野ひろみ



名誉教授 [日本]

本学日本語教育プログラムでは、様々な機会に留学生と地域住民との交流を図っており、日本各地から集まる本学学生も一緒に参加することが多いです。白岩燈火祭への参加は、2010年冬から始まり2019年で10回目となりました。秋田の人々の温かいもてなしを受けた留学生は、皆一様に秋田ファンとなって帰国していきます。また秋田県外から来ている学生にとっても貴重な体験となっています。

大学施設の紹介

祝日・長期休暇などは利用時間が変更となる場合があります。最新情報は本学ホームページにてご確認ください。

中嶋記念図書館(L棟)

本学の図書館は、24時間365日、眠ることなく学生たちを受け入れています。一般の方も下記時間帯で利用が可能です。

【一般利用時間】
 平日 8:30～22:00
 土曜日 10:00～18:00
 日曜日 10:00～22:00



◎高校生カード

対象：秋田県内高校生
 利用方法：カウンターにて高等学校の生徒証を提示してください。
 高校生カードを発行します。
 利用時間：6:00～22:00(土曜・日曜・祝日を含む365日)



言語異文化学修センター(LDIC)

言語異文化学修センターは学生、教職員だけでなく一般の方にも開放された、外国語の自律学修を支援する施設です。英語をはじめ多数の外国語に関する豊富な教材と充実した設備を整えています。

【一般利用時間】
 平日 9:00～22:00
 土曜日 10:00～18:00
 日曜日 10:00～22:00



国際教養大学 サポーターズクラブ



■入会のお願い

国際教養大学は、世界中から集まった優秀な教授陣がすべての授業を英語で提供し、徹底した少人数教育を行うなど、従来の大学にはない特徴を備えた大学です。21世紀の大学教育を変えるバイオニア的役割を担った国際教養大学の挑戦は、秋田県はもとより、日本全体でも画期的な取組であります。『国際教養大学サポーターズクラブ』は、この大学が着実に発展するよう物心両面から応援するとともに、大学と会員との交流・連携の促進などを目的としております。何卒、趣旨にご賛同賜り、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

国際教養大学サポーターズクラブ
 会長 三浦 廣巳

■年会費

個人 1口 3,000円、法人 1口 10,000円

入会を希望される方は、以下のQRコードを使用し表示されるフォームに入力いただくか、事務局へご連絡ください。

国際教養大学内サポーターズクラブ事務局
 電話：018-886-5904
 FAX：018-886-5910
 Email: aiu-supporters-club@gl.aiu.ac.jp

